

学位申請説明会

2024年 7月22日(月)Zoom

17:00~18:00

①課程博士について

18:00~18:30

②短縮修了について

1

学務課大学院係

学位申請の資格と条件について(申請要領より抜粋)

1. 申請資格

学位を申請できる者は、次の各号の一に該当するものであること。

- (1) 本学博士課程に4年以上在学(休学期間を除く)し、所定の授業科目を履修して30単位以上を修得し、大学院研究発表会にて予備審査を終了し、かつ、必要な研究指導を受けた者で、本年度に修了を予定している者
 - (2) 本学博士課程に4年以上在学(休学期間を除く)し、所定の授業科目を履修して30単位以上を修得し、大学院研究発表会にて予備審査を終了し、かつ、必要な研究指導を受け退学した者が、在学年限(休学期間を除く)を通算して7年以内に博士学位を申請する者
- ただし、この場合論文が、所定の期間内(7年以内)に受理されることが条件となる。

2. 申請条件

- (1)-1 原則として本研究科が行う大学院研究発表会(6月及び11月の年2回実施)において、提出する論文の発表を行い予備審査を終了した者
この大学院研究発表会(予備審査)の有効期間は、在学中の発表、満期退学後の発表いずれの場合も、大学院研究発表会(予備審査)終了後翌年度4月から起算して24ヶ月以内の受理審議とする。
- (1)-2 満期退学後、大学院研究発表会(予備審査)の有効期間が切れた者は、年2回(6月または11月)開催の大学院研究発表会にて発表を行うか、または事前に指導教員と相談の上、以下のとおり対面で公開発表会(予備審査)を実施しなければならない。

〈公開発表会(予備審査)について〉

- ア. 指導教員と相談の上、「学位予備審査委員候補者名簿」を作成し、大学院係へ提出する。
 - イ. 大学院教育委員会にて選出された予備審査委員3名および指導教員が出席可能な公開発表会(予備審査)日時(1時間)および公開可能な発表会場を確保の上、「学位予備審査公示様式(公開発表会)」を作成し、公開発表会(予備審査)開催の2週間前までに大学院係へ提出すること。
 - ウ. 公開発表会(予備審査)実施後、予備審査委員3名および指導教員の「学位予備審査実施結果(公開発表会)」「審査委員は可否判断のみ、可の場合のみ署名押印。指導教員は実施確認の署名押印。」を所定様式にて大学院係へ提出すること。
 - エ. 公開発表会(予備審査)は、3名の審査委員全員が可と判断したことをもって終了とする。
 - オ. 公開発表会(予備審査)実施後は、速やかに学位申請(事項3. 提出書類)を行うこと。
 - カ. 公開発表会(予備審査)の有効期間は、予備審査終了後翌月から起算して24ヶ月以内の受理審議とする。
 - キ. 複数の筆頭著者に係る同意書(兼誓約書)が提出された場合は、当該学位申請受理審議前の大学院教育委員会にて、筆頭著者として認めて良いかを別途審議する。
- (2) 本研究科が定めた期日までに論文提出が可能なる者
 - (3) 提出する学位論文は、次の各号に該当するもの。
 - ア. 論文は、本研究科以外の大学院へ学位論文として提出したことがないもの。
 - イ. 論文は、査読付き英文論文誌(以下、英文誌とする)に受理され、原則として印刷公表された原著論文であること。ただし、印刷公表未済のものでも、英文誌編集者からの受理証明書又は掲載予定証明書添付のものは、この限りでない。
 - ウ. 論文は筆頭著者であり、かつ、著者の所属に必ず名古屋大学大学院医学系研究科の学位の申請をする分野の所属であることが明記されていること。筆頭著者が複数の場合は他の筆頭著者及び責任著者の同意書(兼誓約書)が提出されていること。
 - エ. 原則として、学位論文は、MEDLINE、かつ、Web of ScienceのSCIEに収録されている英文誌に掲載されたもののみとする。

学位取得の修了スケジュール(4月入学4年生)

3年生の研究発表会で既に発表済
4年生の6月の研究発表会で発表

3年生の6月or11月
4年生の6月

8~11月

9~11月

12月~
2月

3月

論文投稿・論文アクセプト

研究発表会

論文投稿

論文
(アクセプト)

学位申請

教授会
(2回)

学位授与

4年生の11月の研究発表会で発表

11月~12月

9月~
11月

1月~
2月

3月

論文投稿

論文
(アクセプト)

研究発表会
(11月)

学位申請

教授会
(2回)

学位授与

学位申請の概要(課程博士)

【受理審議まで】

①研究発表会にて予備審査終了

(有効期限切れ後は研究発表会にて再発表もしくは公示による個別の公开发表会に合格していること。)

大学院研究発表会(予備審査)の有効期間

大学院研究発表会(予備審査)の有効期限は、大学院研究発表会(予備審査)を行った翌年度4月から起算して24ヶ月以内の受理審議までとする。

②雑誌に投稿して正式な受理が決定(掲載雑誌の発行年月がわかっていた方がよい)

③修了予定者はHP最上欄の「学位申請書類を提出する前の事前準備について」をよく読み、確認の上、未受講・未提出のものを学位申請前までに完了しておく。

また、「修了要件確認表」に必要事項を入力して、次ページ ⑤大学院係へ学位申請書類データファイルのメール添付による提出 の遅くとも10日前(大学の実働日)までに、メール添付で大学院係へ提出してください。

提出先メールアドレス: phd.med@t.mail.nagoya-u.ac.jp

④受理審議書類作成開始

書類提出前に、指導教員(原則:指導教授)が教授会に出席可能か確認をする

(申請者本人が確認すること)

申請書類作成

主論文の要旨作成、生協印刷部にPDFの作成を依頼する

(依頼方法・連絡先は別紙参照)

申請書類フォーマットは下記よりダウンロードできます(手書き不可)

医学系研究科HPメインメニュー → 大学院教育 → 学位申請手続 → 課程博士

https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/graduate/apply/degree/



⑤ 大学院係へ学位申請書類データファイルのメール添付による提出

(提出期限は学位審査日程表を参照のこと。)

P8に載っている**提出するもの**すべてのデータファイルを大学院係の学位申請担当宛で「学位申請書類メール添付データファイル提出期限」までにメール添付で提出。

※指導教員(原則:指導教授)の出欠の報告については、「学位申請提出書類チェックリスト」に可・否を記入して、他の学位申請書類と併せてメール添付で提出。(欠席の場合は大学院係へご相談ください)

提出・報告先メールアドレス: phd.med@t.mail.nagoya-u.ac.jp

学務課大学院係 学位申請担当 052-744-2431(内線2431) (電話対応 10:00~16:00)

↓

大学院係にて書類チェック(修正箇所をメール添付にて返信)

※返信までに1週間ほどお時間をいただくこともございます。

書類チェック後の正式な提出までの期間に余裕が必要な場合はなるべくお早めにメール添付でデータファイルを送ってください。

↓

⑥ 大学院係へ学位申請書類の正式提出(メール添付および印刷したものを大学院係へ提出)

修正箇所を修正して、指定の提出書類を各提出方法(メール添付および原本)で提出。

原本提出時に本審査についてのご説明および様式をご案内します。

⑦ 研究科委員会(教授会)にて**受理審議**

指導教員(原則:指導教授)の出席が必須

(審議結果について問題がない限りは連絡しません。

問題がある場合は、教授会終了後に大学院係からご連絡致します。)

【受理審議後、合否審議まで】

⑧本審査(対面)

受理審議日以降に審査を受ける

申請者本人で審査委員の教授3名に連絡を取って個別で審査を受ける

合否審議書類作成

審査内容を専用の様式の書類に作成する

その書類に、審査委員の教授3名と指導教員(原則:指導教授)1名の計4名の自署と押印を受ける

(審査方法や専用の様式については⑥の書類提出時に詳細をご案内します)

⑨指導教員(原則:指導教授)とコレスポンドイングオーサーに、 「博士学位論文の研究公正に係る誓約書」への自署依頼

剽窃チェックシステム※iThenticateによる剽窃チェックの上

「博士学位論文の研究公正に係る誓約書」への自署をいただく様、依頼をする。

(※名古屋大学の教員は全員使用可能です。)

⑩大学院係へ「合否審議書類」と「博士学位論文の研究公正に係る誓約書」を提出 予約なしで提出可能

⑪研究科委員会(教授会)にて**合否審議**

指導教員(指導教授)の出席は特に必要なし

(審議結果について問題がない限りは連絡しません。

問題がある場合は、教授会終了後に大学院係からご連絡します。)

⑫大学院係が上申等の報告

医学部大学院係→名古屋大学本部→文部科学省→国会図書館

⑬学位授与・学位記授与式

3月25日修了(短縮修了を含む)のみ学位記授与式を予定

提出するもの(課程博士)※HPチェックリストも参照し下記書類と併せて提出すること

教授会受理審議前に大学院係へ(p5の⑤、⑥それぞれの提出方法に従い提出する。)
(HPに掲載されている書類は、ダウンロードして入力のこと)

- 主論文: 1編(主著の英文の論文)※最新バージョンで提出のこと
- 掲載予定証明書またはアクセプトメール(Webや雑誌に論文が未公表の場合のみ)
- 同意書(筆頭著者が複数の場合のみ=※別紙8の7.でNoを選択している方のみ)※P9参照
※学位申請者の氏名が1番最初に書かれていても筆頭著者が複数の場合は提出が必要です。(様式指定)
筆頭共著者・責任著者それぞれの押印が必要です。(外国人は押印箇所へのサインで可とする)
- 主論文の要旨: 1部(生協印刷部に依頼したPDF)
- 主論文の要旨を生協印刷部で作成したことを証明する生協印刷部発行の証明書: 1部
- 学位申請書: 1通(様式指定)
- 履歴書: 各1通(様式5-1,5-2)(様式指定)
- 論文目録: 1通(様式指定)
- 履歴表: 1通(様式指定)
- 博士論文のインターネット公表確認書(別紙6)(様式指定)および
公表可否に関する裏付資料(メール文、HPの著作権ポリシーの該当部分、または、
著作権の譲渡に関する書類) ※該当部分に蛍光ペンで線を引いてください。※P10参照
- 学位論文に関する情報開示: 1通(別紙8)(様式指定)※P11参照
- PubMedのMEDLINEかつWeb of ScienceのSCIEへの掲載誌であることの裏付: 各1 ※P11参照
HPの検索方法に従い、指定の画面を印刷の上、該当部分に蛍光ペン等でラインを引いた上で提出してください。

教授会受理審議後に大学院係へ

- 論文審査および試験の担当者(様式指定)
- 論文審査及び試験結果の報告(様式指定)
- 「博士学位論文の研究公正に係る誓約書」(様式指定2種類 指導教員用・コレスポンドイングオーサー用)
- 学位記授与の時期(3月、9月はその月、3月、9月以外の授与予定者はその翌月)以降に申請者本人が受け取れない場合は「委任状」(様式指定)

同意書(兼 誓約書)について

筆頭著者が複数の場合、「同意書(兼 誓約書)」の提出が必要。

- 「同意書 (兼 誓約書)」は筆頭著者が複数の場合のみ、提出が必要。
- 筆頭著者の中で学位申請者の氏名が1番最初に書かれていても提出が必要。
- 筆頭共著者・責任著者それぞれの押印が必要。
(外国人は押印箇所へのサインで可とする。)
- 同じ「同意書(兼 誓約書)」の用紙への押印(サイン)が困難な著者がいる場合は、別の「同意書(兼 誓約書)」の用紙への押印(サイン)を依頼して、最終的に合わせて全員分が揃うように準備が必要。
- 押印(サイン)された「同意書(兼 誓約書)」の原紙のご提出が困難な場合は、押印(サイン)された「同意書(兼 誓約書)」をPDFにして印刷したものでのご提出も可とする。

インターネット公表確認書(別紙6)について

1. 博士論文等の公表について

- 1) 学位規則により博士の学位を授与する者は、インターネットを利用して論文を公表しなければならない。
- 2) インターネットを利用した公表の方法について、名古屋大学では一括して名古屋大学学術機関リポジトリ(以下「機関リポジトリ」という)を利用する。

2. 論文の全文を公表できない場合について

- ① 博士論文の全文について出版刊行や学術ジャーナルへの掲載により公表に制約がかかる場合又は秘匿すべき情報を含む場合など、やむを得ない特別な事由がある場合は、当該論文の全文に代えてその内容を要約したものをインターネットで公表する。

- ② 研究科においてやむを得ない特別な事由があると認めた場合は、インターネット公表確認書(別紙6)にその事由を明記して提出。

なお、インターネットでの公表を期限付きで非公開とする場合は、公開が可能となる時期の明記が必要。

この場合、論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨の2点については学位授与後に、博士論文の全文については公開が制約される時期が経過した後に公表されることになる。

- ③ 博士論文の全文をインターネットで公表しない場合、又は、一定の期間を非公開とする場合であっても閲覧に供する必要がある。本学では、博士論文の電子データをもって本学附属図書館窓口にて閲覧に供するので、全文を機関リポジトリへアップロードされる。

- ④ 博士論文の公表は学位授与者に課せられた義務であることから、博士論文の出版や学術ジャーナルに掲載した論文をインターネットで公表する場合の著作権は申請者において確認が必要となる。

「学位論文に関する情報開示(別紙8)」について

1. 学位情報の開示について

1) 学位申請者は、「学位論文に関する情報開示(別紙8)」の提出が必要。

指導教員(原則:指導教授)の自署および押印を必ず受けて、学位申請書類の提出時に提出。

2) 開示内容

- ・専攻名、専門分野名、氏名
- ・論文タイトル、雑誌名、巻・号・ページ詳細、発行年月、著者・共著者名(全員分)
- ・PubMed【MEDLINE】への登録の有無(無の場合は創刊年などについて)
- ・Web of Science(WOS)【SCIE】への登録の有無(有の場合はIF、無の場合は創刊年などについて)
- ・単独の筆頭著者か否か(equal contributorsの場合は貢献詳細について)
- ・学位論文のcontributorsの開示欄に、学位申請者が、論文もしくは論文ドラフトを書いたことが明示されているか(明示されていない場合、論文執筆への貢献詳細について)

2. 申請条件について

1) 原則として、学位論文は、

PubMedのMEDLINE、かつ、Web of Science (WOS) のSCIEでの掲載(登録)誌への掲載論文のみ可となる。
PubMedのPMCや Web of Science (WOS)のESCIでの掲載(登録)誌への掲載論文は不可とする。

※参考(HPにはURLのほか検索方法を掲載しています)

PubMed(MEDLINE)への登録の有無の確認 <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog?term=currentyindexed>

WOS(SCIE)への登録の有無の確認 <http://mjl.clarivate.com/cgi-bin/jrnlst/jlresults.cgi?PC=D&Alpha=A>

創刊年の確認 <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>

IFの確認 <http://admin-apps.webofknowledge.com/JCR/JCR?PointOfEntry=Home&SID=U1KWIXeGFuhGkXs86NP>

IFの確認(大学外部から等上記URLが開けない場合 <https://impactfactorforjournal.com/impact-factor-2021/>

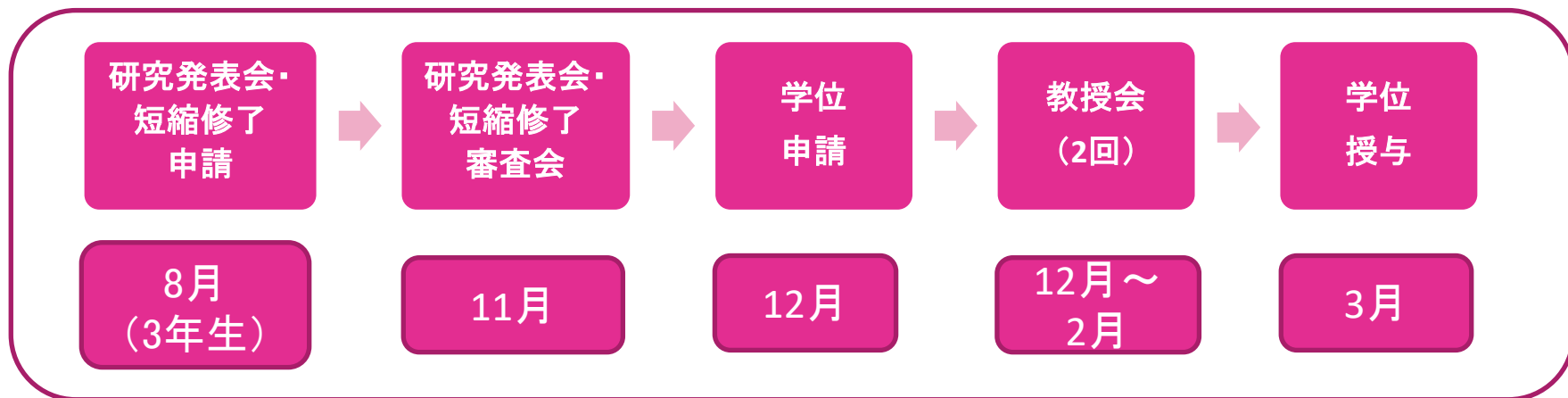
学位申請に関する注意事項(全般)

- 雑誌社からの論文のアクセプト
- 締切日厳守
- 研究発表会での論文発表
 - 発表の翌年度の4月から起算して2年以内の受理審議までが有効期限 ※参考 申請要領
- 学位の合格には2回の教授会審議が必要
(1回目の教授会への指導教員(原則:指導教授)のご出席は必須)
- 「学位申請書類を提出する前の事前準備について」をよく読んで確認や依頼を終えておく。
また、「修了要件確認表」に必要事項を入力して、学位申請書類を提出する
(大学の実働日で)遅くとも学位申請書類提出の10日前までに、メール添付で大学院係へ提出する。
- 申請書類提出
 - 1.全ての学位申請書類をメール添付で大学院係へ提出
 - 2.修正後の書類を正式に提出(メール添付および印刷したものを大学院係へ提出)
- 申請要領・様式
医学系研究科ホームページ
https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/graduate/apply/degree/

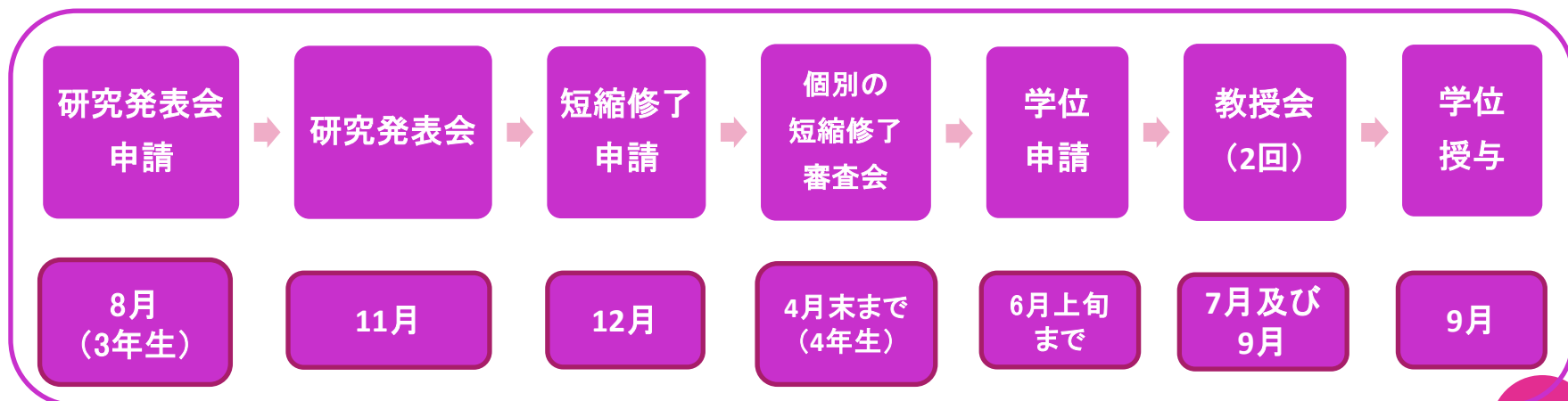


短縮修了スケジュール(3年又は3年6か月) (2020年度以降入学者)

4月入学3年生 3月修了の場合



4月入学4年生 9月修了の場合



短縮修了について(2020年度以降入学者)

(1)申請資格

以下の①から③の全てを満たす者で、④の要件の論文を提出できる者

①大学院在学中の成績が極めて優秀であり、指導教授及び専門分野以外の教授1名から推薦を受けた者

②所定の授業科目を履修して30単位以上を修得する見込みの者

③休学期間の無い者

④学位申請論文の要件

1)学位申請要領における主論文の要件に該当するもの。

2)主論文は、本研究科以外の大学院へ学位論文として提出したことがないもの。

3)主論文は、原則として印刷公表したものであること。ただし、印刷公表未済のものでも、発表機関の受付証明書又は掲載予定証明書添付のものは、この限りでない。

4)主論文(主著の英文の論文1編)は、一流の英文雑誌に掲載(受理された場合を含む)されたものであり、かつ、その内容が学問的にもきわめて価値が高いものであること。

対象の英文雑誌は各研究領域でトップ10パーセント程度の雑誌を目安とする。

※医学部HPメインメニュー→大学院教育→学位申請／短縮修了手続／

研究論文の執筆方法と雑誌からの受理を得るために→短縮修了手続に、トップ10%雑誌の検索法を掲載しています。

https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/graduate/apply/short/



(2)審査

短縮修了を申請する者は、3年次の秋学期に本研究科が行う大学院研究発表会において、提出する学位論文の発表を行い、当該発表会において短縮修了審査員全員から短縮修了に値すると判定されなければならない。

3年次の秋学期に行う大学院研究発表会実施後に短縮修了を申請する場合は、申請者は、4年次の4月末までに短縮修了審査会を個別に実施するものとする。

→短縮修了の可能時期は、在学3年または3年6か月の修了のみとなる。

→在学3年で短縮修了する場合は、研究発表会と併せて審査会を実施するため、研究発表会の申し込み(3年次の8月)時点で提出論文が学術雑誌に受理されている必要がある。

※上記申請資格をクリアしていれば短縮修了が認められる訳ではなく、単に短縮修了を申請できる要件となる。

(3)提出書類

①博士課程短縮修了願:1通

②指導教員からの「博士課程の修業年限に関する特例」による推薦書:1通

③専門分野以外の本研究科教授からの推薦書:1通

※①～③の様式は、医学部HPメインメニュー→大学院教育→

学位申請／短縮修了手続／研究論文の執筆方法と雑誌からの受理を得るために
→短縮修了手続 よりダウンロードできます。

https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/graduate/apply/short/



④履修票原本

⑤研究業績目録:5部(任意様式)

○著者名 ○原著名又は著書名 ○発表雑誌名又は発行年 ○巻・頁・発行年

※上記項目を網羅していること。

⑥主論文とする原著:5部

(未印刷の場合は、論文掲載予定を証明する書類及び原稿の写)

- 学位申請関係書類掲載先(課程博士)

医学系研究科HPメインメニュー

→大学院教育→学位申請手続→課程博士

https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/graduate/apply/degree/



- 学位申請お問い合わせ先

学務課大学院係(平日10:00-16:00)

052-744-2431 内線2431

mail: phd.med@t.mail.nagoya-u.ac.jp

- 短縮修了お問い合わせ先

学務課大学院係(平日10:00-16:00)

052-744-2431 内線5223

mail: med@t.mail.nagoya-u.ac.jp